

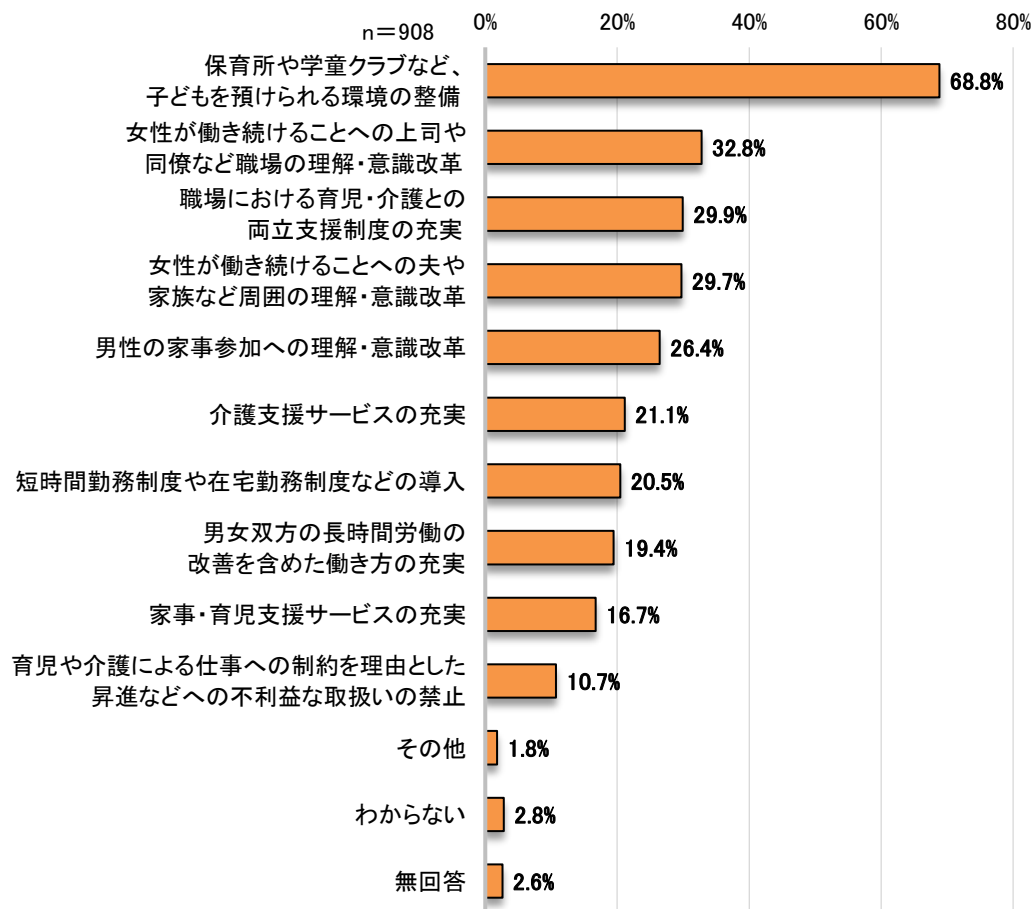
問 21 出産後働き続けるために家庭・社会・職場において必要なこと

女性が出産後も離職せずに同じ職場で働き続けるために、家庭・社会・職場において必要なことは何だと思いますか。
次の中から三つまで選んで番号を○で囲んでください。(複数回答)

1	保育所や学童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備	68.8%
2	介護支援サービスの充実	21.1%
3	家事・育児支援サービスの充実	16.7%
4	男性の家事参加への理解・意識改革	26.4%
5	女性が働き続けることへの夫や家族など周囲の理解・意識改革	29.7%
6	女性が働き続けることへの上司や同僚など職場の理解・意識改革	32.8%
7	男女双方の長時間労働の改善を含めた働き方の充実	19.4%
8	職場における育児・介護との両立支援制度の充実	29.9%
9	短時間勤務制度や在宅勤務制度などの導入	20.5%
10	育児や介護による仕事への制約を理由とした昇進などへの不利益な取扱いの禁止	10.7%
11	その他	1.8%
12	わからない	2.8%
	無回答	2.6%

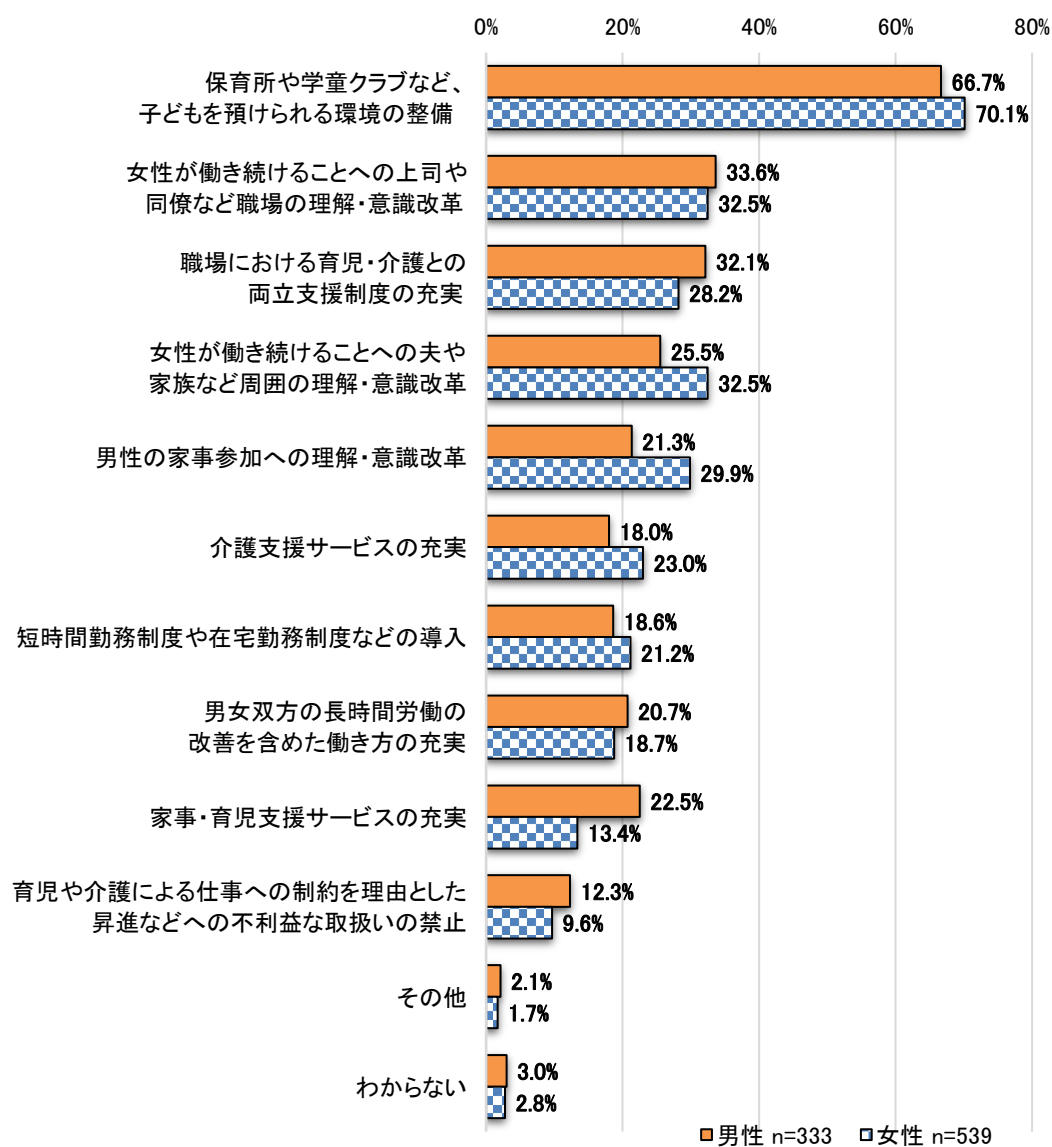
【全体】問 21 出産後働き続けるために家庭・社会・職場において必要なこと

女性が出産後も離職せずに同じ職場で働き続けるために、家庭・社会・職場において必要なことは、「保育所や学童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備」(68.8%)と回答した者の割合が最も高く、次いで「女性が働き続けることへの上司や同僚など職場の理解・意識改革」(32.8%)、「職場における育児・介護との両立支援制度の充実」(29.9%)、「女性が働き続けることへの夫や家族など周囲の理解・意識改革」(29.7%)の順になっている。



【性別】問 21 出産後働き続けるために家庭・社会・職場において必要なこと

性別にみると、回答の差が5.0ポイントを超えるもののうち、女性の方が男性より高くなっているのは「男性の家事参加への理解・意識改革」8.6ポイント（女性29.9%、男性21.3%）、「女性が働き続けることへの夫や家族など周囲の理解・意識改革」7.0ポイント（女性32.5%、男性25.5%）。一方で、男性の方が女性より高くなっているのは「家事・育児支援サービスの充実」は9.1ポイント（男性22.5%、女性13.4%）となっている。



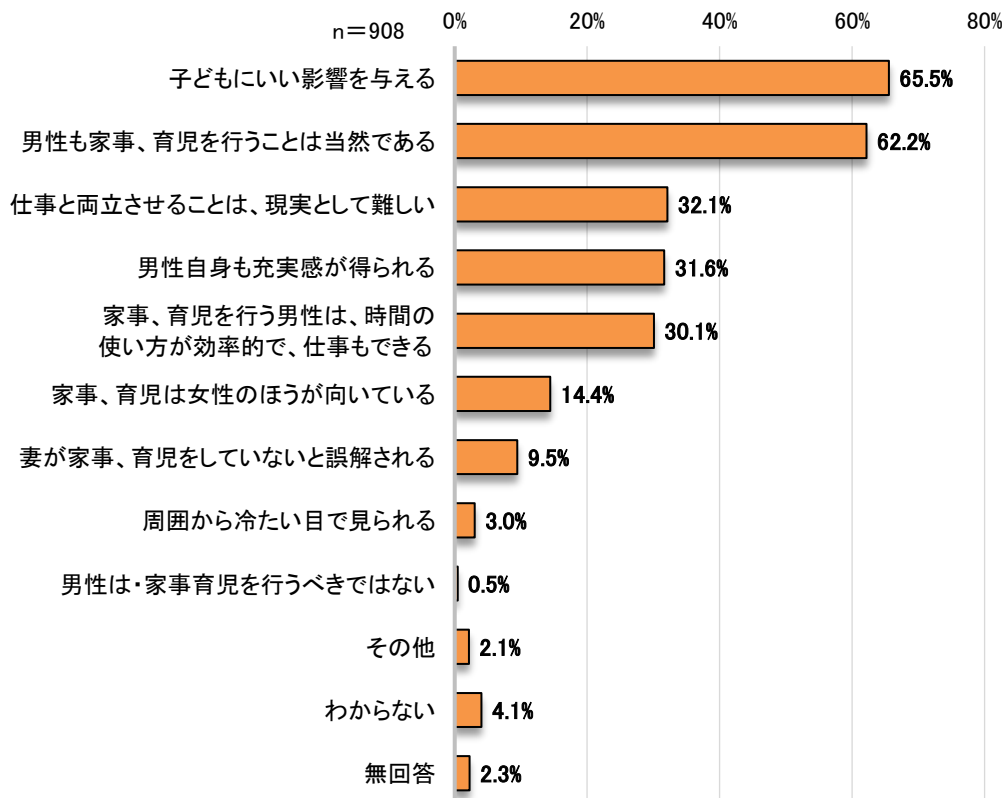
問 22 男性が家事・育児を行うことへのイメージ

あなたは、男性が家事、育児を行うことについて、どのようなイメージを持っていますか。次の中から三つまで選んで番号を○で囲んでください。(複数回答)

1	男性も家事、育児を行うことは当然である	62.2%
2	家事、育児を行う男性は、時間の使い方が効率的で、仕事もできる	30.1%
3	男性自身も充実感が得られる	31.6%
4	子どもにいい影響を与える	65.5%
5	仕事と両立させることは、現実として難しい	32.1%
6	家事、育児は女性のほうが向いている	14.4%
7	妻が家事、育児をしていないと誤解される	9.5%
8	周囲から冷たい目で見られる	3.0%
9	男性は・家事育児を行うべきではない	0.5%
10	その他	2.1%
11	わからない	4.1%
	無回答	2.3%

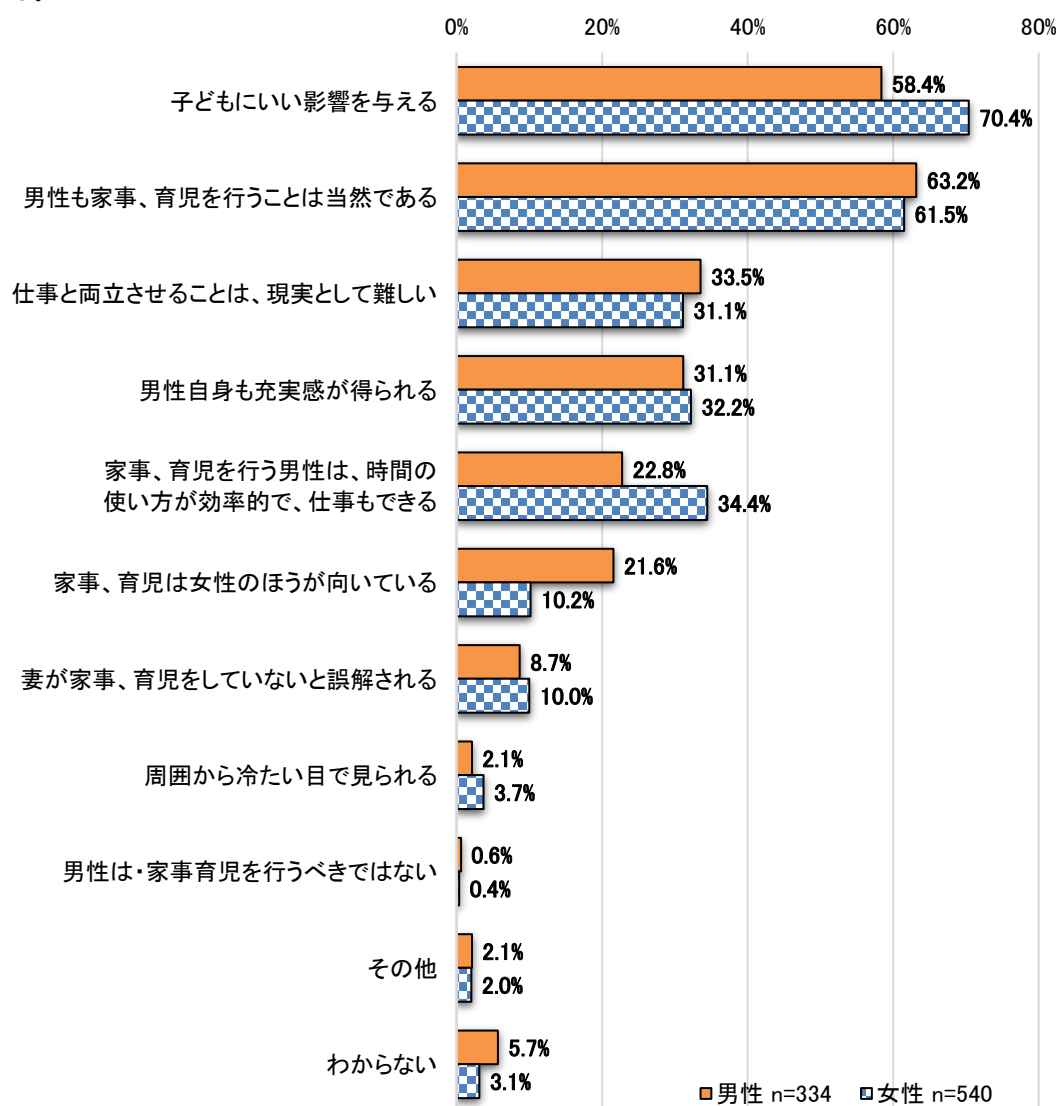
【全体】問 22 男性が家事・育児を行うことへのイメージ

男性が家事・育児を行うことへのイメージは、「子どもにいい影響を与える」(65.5%)と回答した者の割合が最も高く、次いで「男性も家事、育児を行うことは当然である」(62.2%)、「仕事と両立させることは、現実として難しい」(32.1%)、「男性自身も充実感が得られる」(31.6%)、「家事、育児を行う男性は、時間の使い方が効率的で、仕事もできる」(30.1%)の順になっている。



【性別】問 22 男性が家事・育児を行うことへのイメージ

性別にみると、「子どもにいい影響を与える」12.0ポイント（女性70.4%、男性58.4%）、「家事、育児を行う男性は、時間の使い方が効率的で、仕事もできる」11.6ポイント（女性34.4%、男性22.8%）、女性の方が男性より高くなっている。「家事、育児は女性のほうが向いている」は11.4ポイント（男性21.6%、女性10.2%）、男性の方が女性より高くなっている。



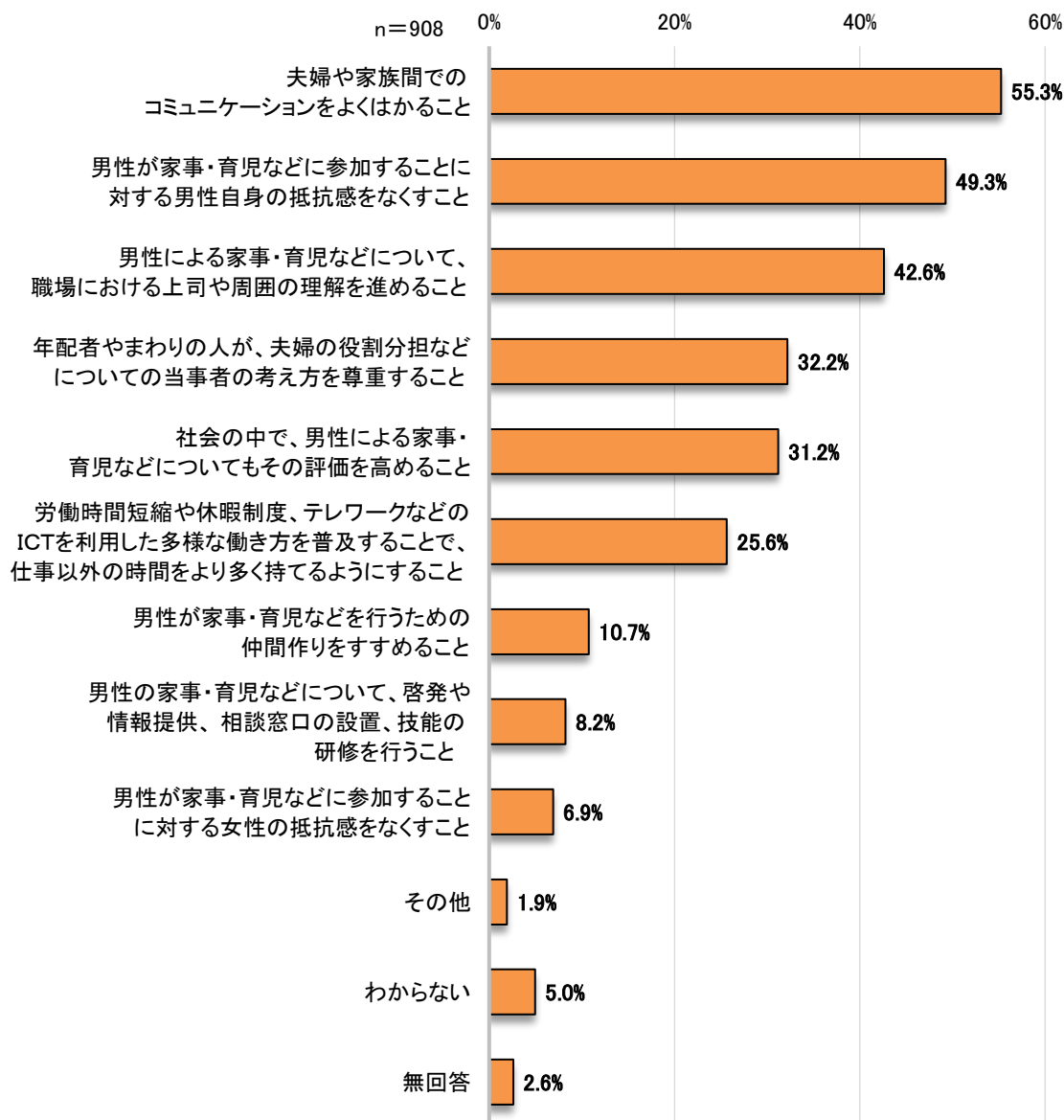
問 23 男性の家事等への参加に必要な条件

今後、男性が女性とともに家事、子育てや教育、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から三つまで選んで番号を○で囲んでください。(複数回答)

1	男性が家事・育児などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと	49.3%
2	男性が家事・育児などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと	6.9%
3	夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること	55.3%
4	年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担などについての当事者の考え方を尊重すること	32.2%
5	社会の中で、男性による家事・育児などについてもその評価を高めること	31.2%
6	男性による家事・育児などについて、職場における上司や周囲の理解を進めること	42.6%
7	労働時間短縮や休暇制度、テレワークなどのICTを利用した多様な働き方を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること	25.6%
8	男性の家事・育児などについて、啓発や情報提供、相談窓口の設置、技能の研修を行うこと	8.2%
9	男性が家事・育児などを行うための仲間(ネットワーク)作りをすすめること	10.7%
10	その他	1.9%
11	わからない	5.0%
	無回答	2.6%

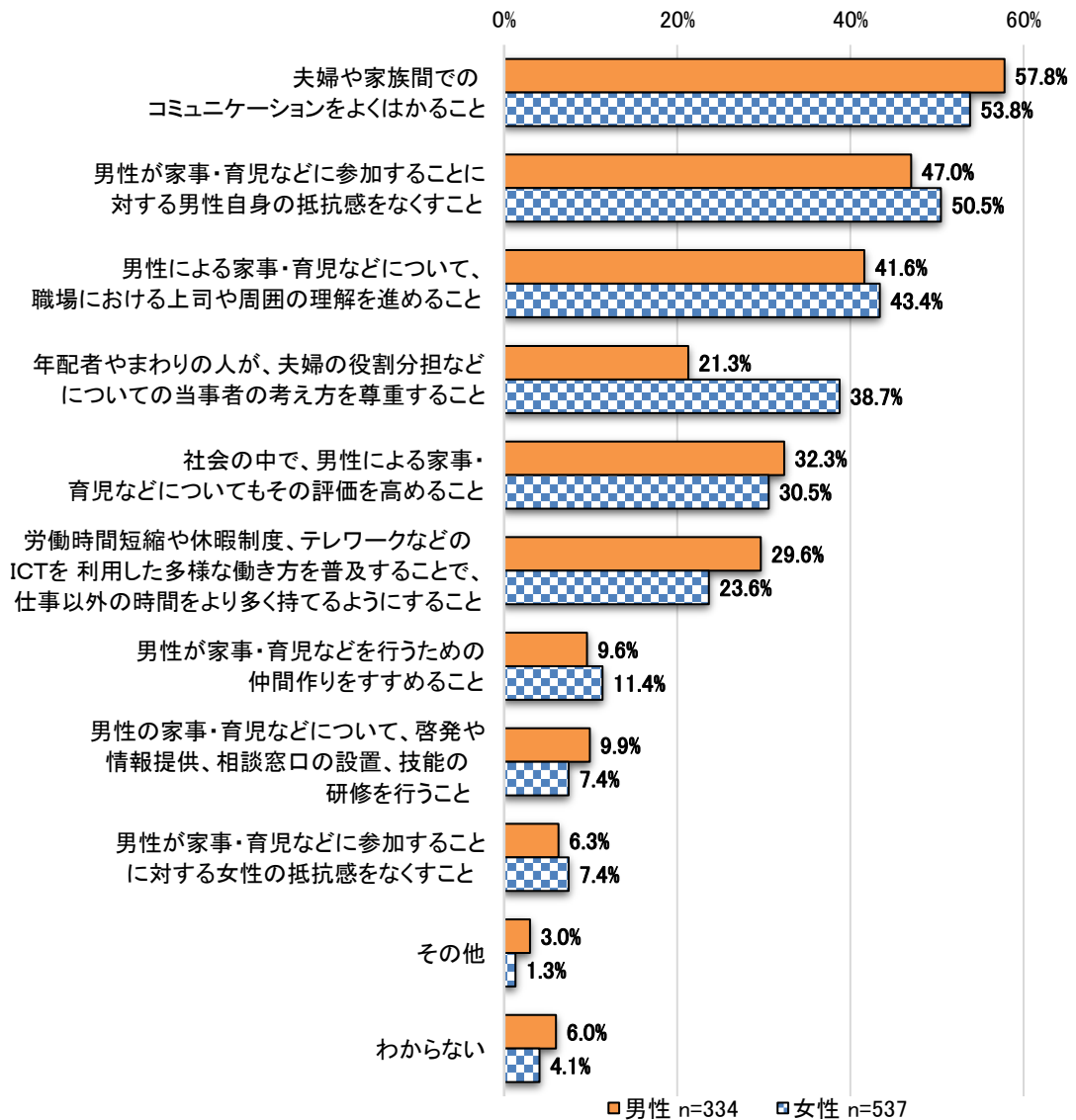
【全体】 問 23 男性の家事等への参加に必要な条件

男性が女性とともに家事、子育てや教育、介護、地域活動に積極的に参加していくために必要な条件は、「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」(55.3%)と回答した者の割合が最も高く、次いで「男性が家事・育児などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」(49.3%)、「男性による家事・育児などについて、職場における上司や周囲の理解を進めること」(42.6%)の順になっている。



【性別】問 23 男性の家事等への参加に必要な条件

性別にみると、「年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担などについての当事者の考え方を尊重すること」と回答した者の割合は 17.4 ポイント（女性 38.7%、男性 21.3%）、女性の方が男性より高くなっている。



問 24 生活の中での優先順

生活の中での「仕事」「家庭生活」地域活動・学習・趣味・付き合いなどの「地域・個人の生活」の優先順についてお伺いします。(1)、(2)について、それぞれ一つ選んで番号を○で囲んでください。

(1) あなたの希望に最も近いものについて

1 「仕事」を優先したい	4.1%
2 「家庭生活」を優先したい	20.3%
3 「地域・個人の生活」を優先したい	5.4%
4 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい	38.4%
5 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	5.1%
6 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	12.2%
7 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」すべて優先したい	8.6%
8 わからない	3.6%
無回答	2.3%

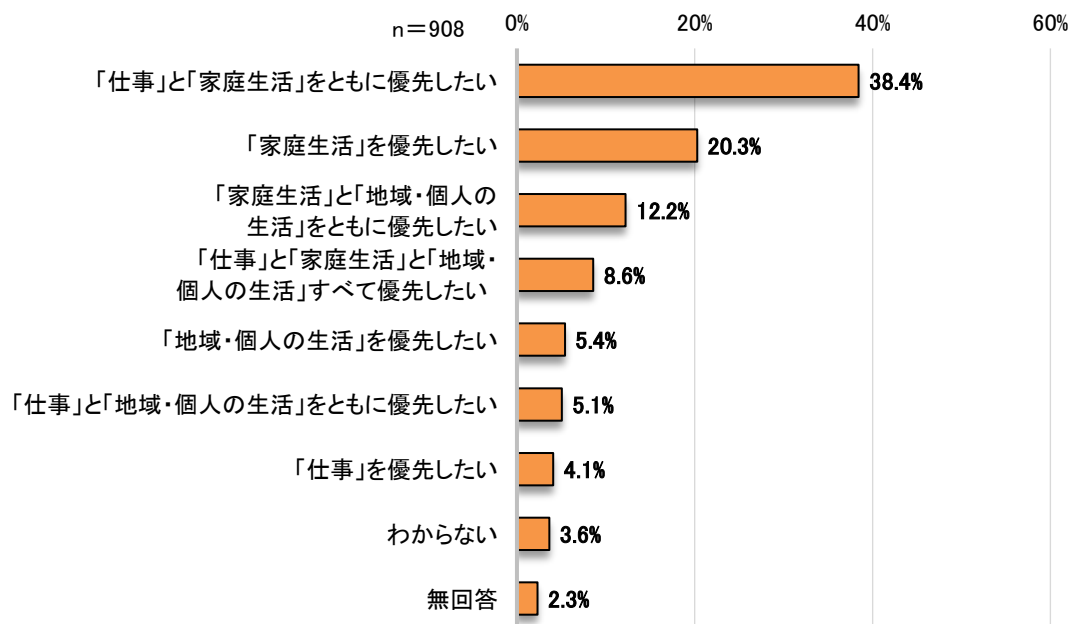
(2) あなたの現実・現状に最も近いものについて

1 「仕事」を優先している	17.1%
2 「家庭生活」を優先している	20.3%
3 「地域・個人の生活」を優先している	4.0%
4 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している	27.9%
5 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している	5.0%
6 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している	8.7%
7 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」すべて優先している	6.6%
8 わからない	7.8%
無回答	2.8%

(1) 希望に最も近いもの

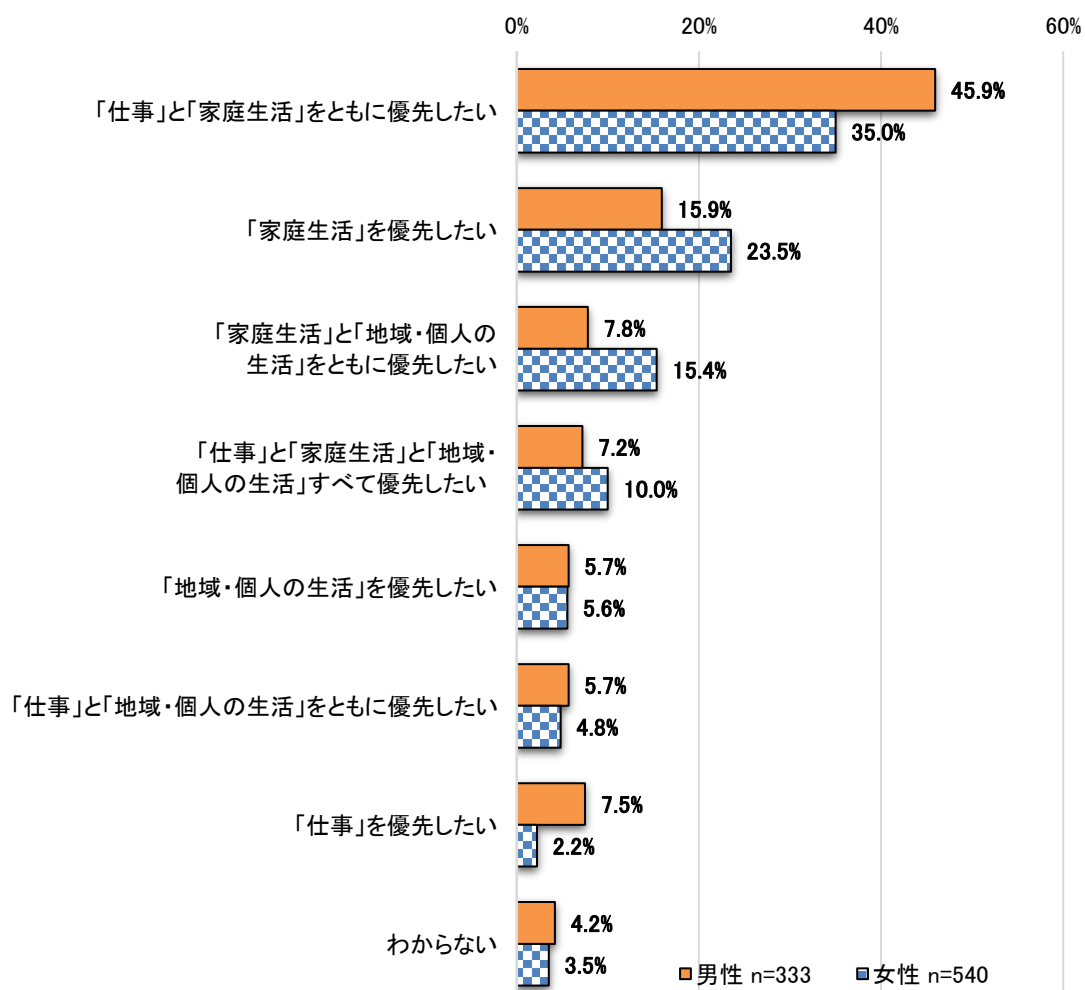
【全体】問 24 生活の中での優先順 (1) あなたの希望に最も近いものについて

希望として生活の中での「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の優先順は、「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい(38.4%)と回答した者の割合が最も高くなっている。次いで「家庭生活」を優先したい(20.3%)、「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい(12.2%)の順になっている。



【性別】問 24 生活の中での優先順（1）あなたの希望に最も近いものについて

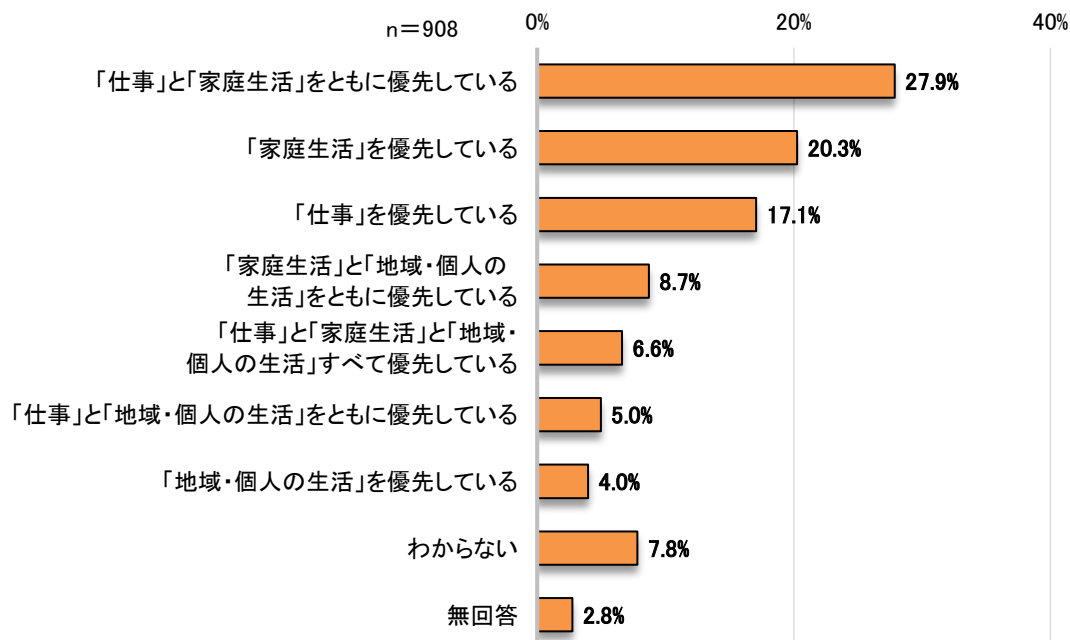
性別にみると、「仕事」と「家庭生活」をともに優先したいは10.9ポイント（男性45.9%、女性35.0%）、男性の方が女性より高くなっている。「家庭生活」を優先したい7.6ポイント（女性23.5%、男性15.9%）、「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい7.6ポイント（女性15.4%、男性7.8%）、女性の方が男性より高くなっている。



(2) 現実・現状に最も近いもの

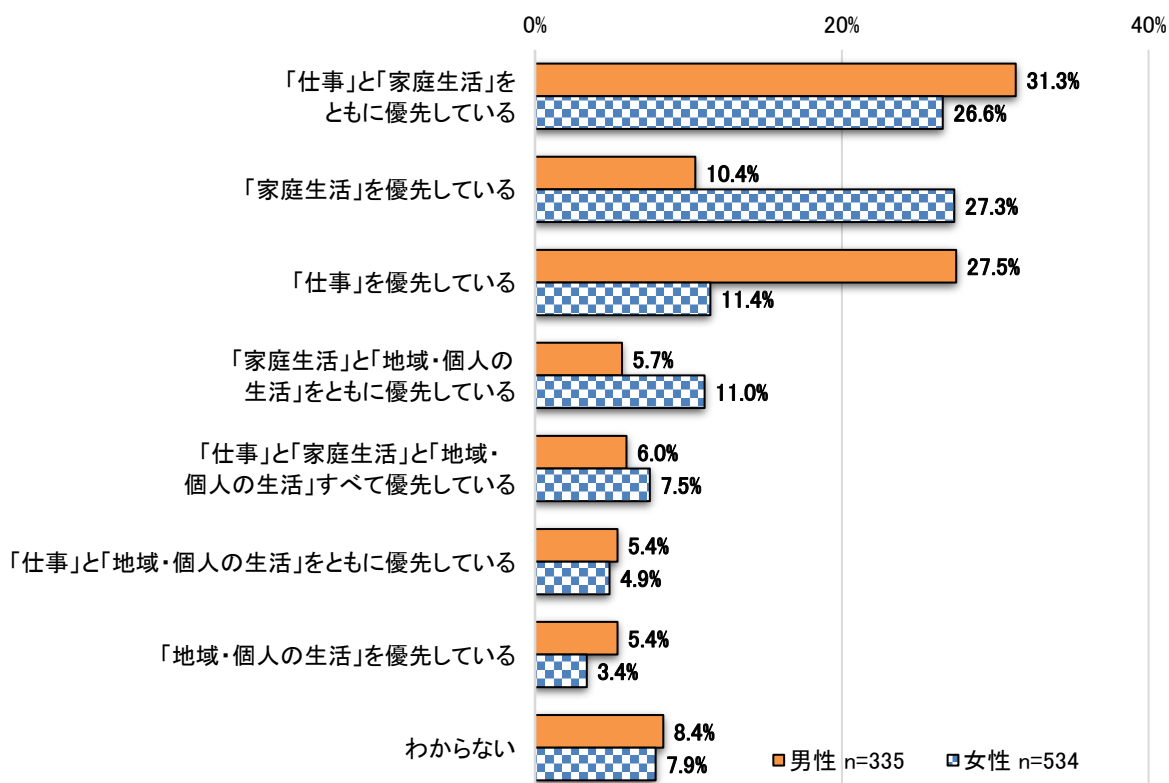
【全体】問 24 生活の中での優先順 (2) あなたの現実・現状に最も近いものについて

現実として生活の中での「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の優先順は、希望と同じく、「仕事」と「家庭生活」をともに優先している (27.9%) と回答した者の割合が最も高くなっている。次いで「家庭生活」を優先している (20.3%)、「仕事」を優先している (17.1%) の順になっている。



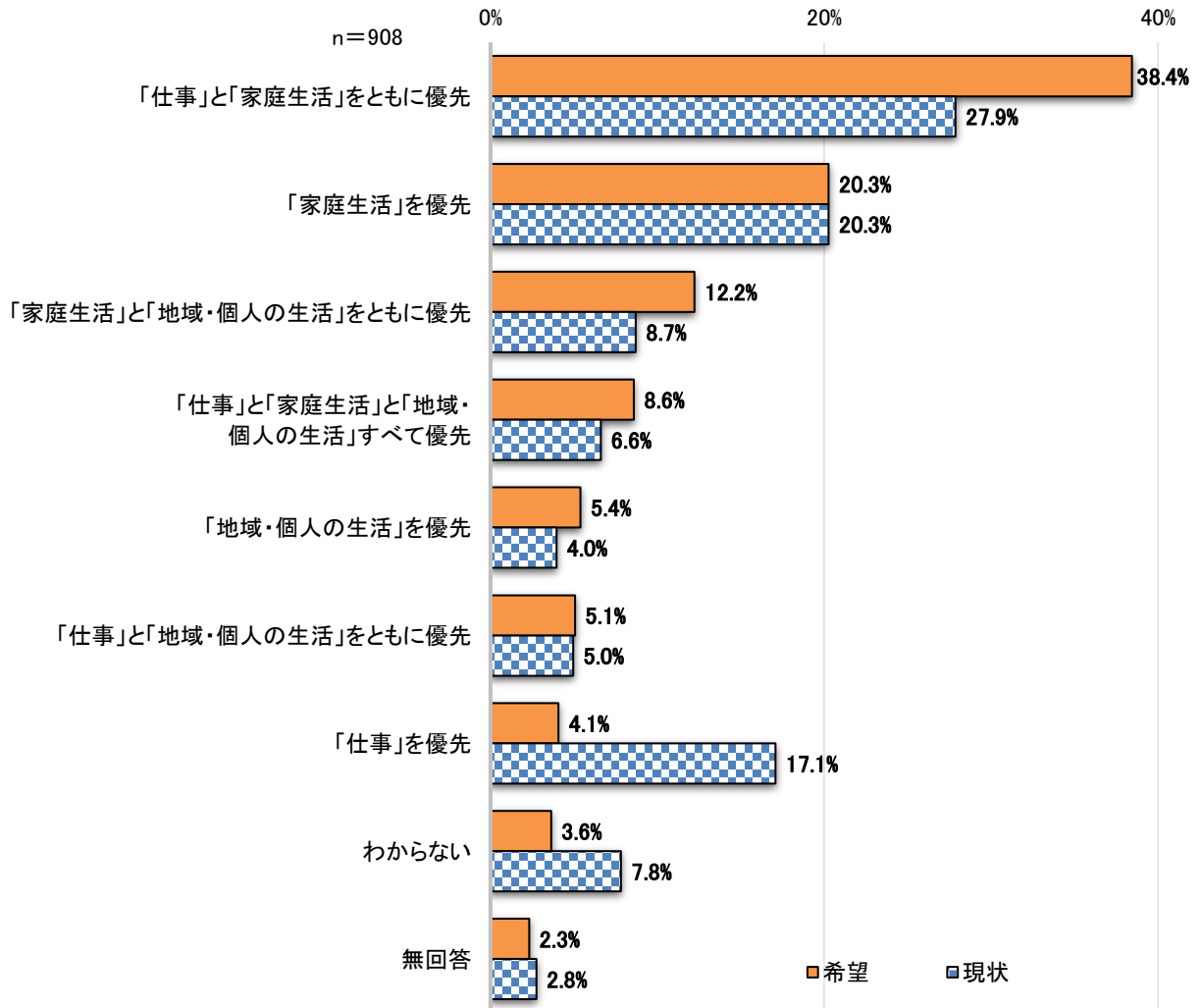
【性別】問 24 生活の中での優先順 (2) あなたの現実・現状に最も近いものについて

性別にみると、「仕事」を優先している」は 16.1 ポイント (男性 27.5%、女性 11.4%)、男性の方が女性より高くなっている。「家庭生活」を優先している」は 16.9 ポイント (女性 27.3%、男性 10.4%)、女性の方が男性より高くなっている。



【希望と現状の比較】問 24 生活の中での優先順

希望と現状を比較すると、「仕事」と「家庭生活」とともに優先」と回答した者の割合で、希望より現状が10.5ポイント下回っている。「仕事」を優先」と回答した者の割合で、希望より現状が13.0ポイント上回っている。



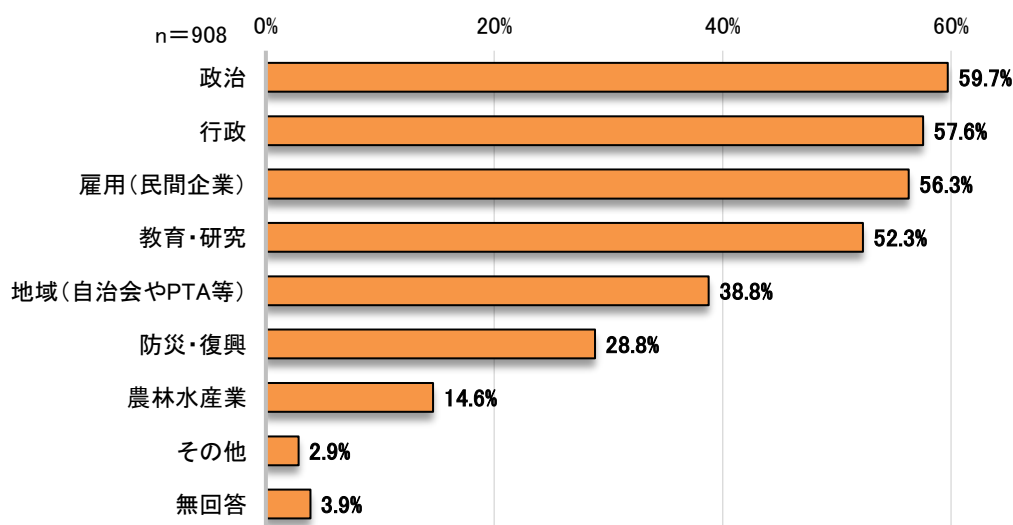
問 25 今後女性の活躍が重要となる分野

今後、どの分野での女性活躍が重要だと感じますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。(複数回答)

1	政治	59.7%
2	行政	57.6%
3	雇用(民間企業)	56.3%
4	農林水産業	14.6%
5	教育・研究	52.3%
6	地域(自治会やPTA等)	38.8%
7	防災・復興	28.8%
8	その他	2.9%
	無回答	3.9%

【全体】問 25 今後女性の活躍が重要となる分野

今後の女性活躍が重要な分野では、「政治」(59.7%)と回答した者の割合が最も高く、次いで「行政」(57.6%)、「雇用(民間企業)」(56.3%)、「教育・研究」(52.3%)の順になっている。



【性別】問 25 今後女性の活躍が重要となる分野

性別にみると、「教育・研究」は7.5ポイント(女性55.2%、男性47.7%)、女性の方が男性より高くなっている。

